


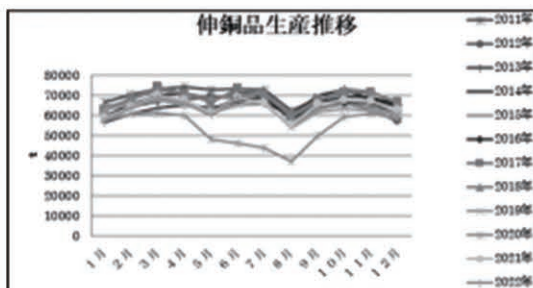
銅・アルミレポート

橋本アルミ株式会社取締役
橋本 健一郎



7月の銅の概況及び8月の見通し (2)

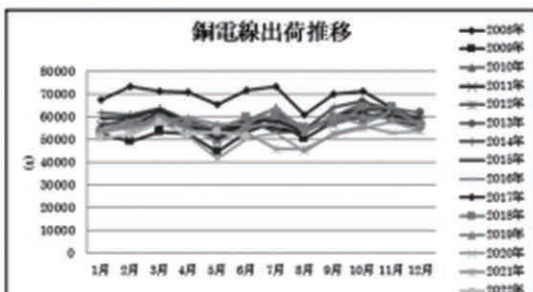
伸銅品生産推移



出典 日本伸銅協会

【日本電線工業会発の出荷速報(推定)】

前年比+4.8%の5万1,400 t、内訳は国内が-2.6%
輸出が+285.3%。



出典 日本電線工業会

■国内概況まとめ

【自動車】

【自動車生産】

生産動態統計によると6月の自動車生産台数は前年
比-9.8%の62万6,372台。輸出は前年同月比-15.8%
の28万5,761台。

【自動車販売】

日本自動車販売協会連合会によると7月の自動車販
売台数(軽除く)は前年比-13.4%の21万4,134台。

内訳は、乗用車が-12.3%、貨物が-20.1%、バス
は-37.2%。

【住宅着工戸数】

6月の新設住宅着工は、貸家及び分譲住宅は増加し
たが、持家が減少したため、全体で前年同月比2.2%
の減少となった。また、季節調整済年率換算値では前
年同月比2.1%の増加となった。

【伸銅品生産】

6月伸銅品生産量は6万8,820トン。前年同月比0.3%

減少し、6か月連続のマイナスとなった。14品目中7品
目が前年同月実績を下回った。ただ、下回った多くが
昨年より僅かに下回る水準での生産量だった。

伸銅品の需要を支える半導体向けが好調を持続して
いる。上海のロックダウンが解除されてデジタル家電が緩
やかな回復をしている。依然、自動車の減産を公表する
機会が多いが、特に伸銅品の生産への影響が見えない。
ただ、自動車の部品在庫の積み上げが進んだ。

銅条は、同比3ヶ月ぶりプラス。半導体向けの需要
はデータセンターやサーバー向け好調で高位が続いて
いる。車載向けは足元良いが、先細りの懸念があるとの
会員企業の意見が出てきている。自動車のコネクタ
などの部品向けは、在庫が充当されてきているが、まだ
需要がある。ただ、部品によって好不調の明暗がある。
上海のロックダウンの影響を受けたが、解除後はデ
ジタル家電の立ち上げが緩やかに回復している。ただ、
中国のスマートフォン向けの需要が弱まってきた。

黄銅棒は、同比6ヶ月連続マイナス。それでも昨年
と差は僅かである。住宅設備機器関連が緩やかに回復
している。特にリフォームがけん引している。上海
ロックダウンによる部品不足が若干影響を残している。

【電線】

前年比+4.8%の5万1,400 t。内訳は、国内が-2.6%、
輸出が+285.3%。

【輸出】

電気銅は、+25.2%の5万3,375 t。

スクラップは、-19.2%の3万1,021 t。

【輸入】

電気銅は、+43%の708 t。

スクラップは、+51.1%の1万3,441 t。

【見通し】

【自動車】

6月の自動車生産が-9.8%。7月国内販売台数が前
年比-15.8%。7か月連続生産、販売共に大幅減少。
前月に続き上海のロックダウンによる半導体以外にも中
国からの部品供給の遅れとのことさらに米の台湾訪問
による米中関係悪化による更なる遅れを危惧。

【伸銅品生産】

6か月連続のマイナスとなった。14品目中7品目が前
年同月実績を下回った。ただ、下回った多くが昨年よ
り僅かに下回る水準での生産量だった。

伸銅品の需要を支える半導体向けが好調を持続して
いる。上海のロックダウンが解除されてデジタル家電
が緩やかな回復をしている。依然、自動車の減産を公
表する機会が多いが、特に伸銅品の生産への影響が見
えない。ただ、自動車の部品在庫の積み上げが進んだ
ため減少が始まるか？

【電線】

前年比+4.8%の5万1,400 t。

内訳は、国内が-2.6%、輸出が+285.3%。

輸出が急回復。今後さらに回復するか期待。

(次頁へ)

【スクラップ景況予想】

流通【一次問屋】在庫は今月銅建値が117万から105万と急落(現在は109万)したこと前月に続きコロナによる生産減からのスクラップ発生減により出物が無く在庫薄。

需要面に関して上海ロックダウンによる中国の部品調達の遅れからの自動車生産、販売の大幅減少傾向があるが伸銅品に関しては一部品目でリモートワーク需要減による需要減はあるもの全体としては旺盛。

ただ米の台湾訪問による米中関係の悪化への警戒感から買い控えが起こる可能性もある。

【LME・為替予想】

今月は以下の項目に左右される。①米欧の金融政策

②米中関係の悪化。

①に関しては、引き締め一辺倒であったFRBがここ最近の経済指標からやや中立にシフトしてとの見解もあるが次回はまだ0.75%を維持するのではないか。

②に関しては、ペロシ米下院議長、米大統領の継承順位2位の下院議長による台湾訪問は25年ぶりに訪問。米国の長年の政策である「一つの中国政策」を損なうものではないと表明。「この訪問が危機や紛争に拍車をかける理由にはならない」とし、米国が中国の脅威や好戦的なレトリックに脅かされることはないと述べた。ただ、中国は訪問事態に反発。台湾向け砂輸出停止するなどを行っている。ただ、これ以上の悪化はないのではないかと。

これらを踏まえた8月の銅価格は7,000-9,000ドル(セツル)との予想。

ドル円値は135円~139円(TTM)を予測。

銅建値に関しては99万-129万円程度と予測している。

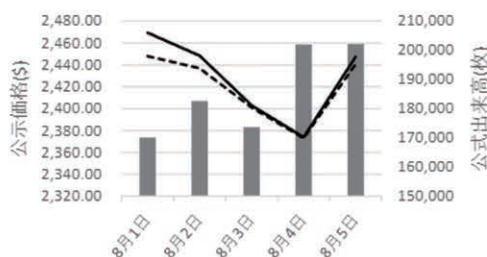
(おわり)

日刊金属 既刊収録サイト

<https://nikkankinzoku.co.jp/>

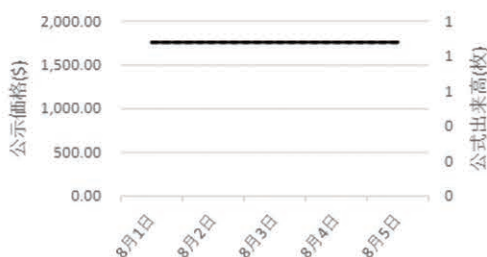
LME公式値週間推移 8月1日~8月5日(現地)

LMEアルミHG



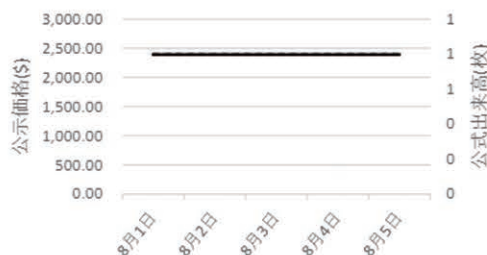
■ 出来高 — 直物 - - - 先物

LMEアルミ合金



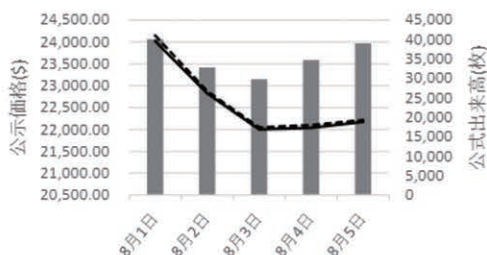
■ 出来高 — 直物 - - - 先物

LME北米特殊アルミ合金



■ 出来高 — 直物 - - - 先物

LMEニッケル



■ 出来高 — 直物 - - - 先物